

県議会（12/5 全員協議会）からの主なご意見

①ジェンダーギャップの解消

- ・ 方針の方向性の一番に「ジェンダーギャップの解消と働きやすい職場環境づくり」を位置づけていただいたことを高く評価したい。
- ・ L字カーブへの対応として、女子生徒に対する教育の観点も加えてほしい。
- ・ 男性の育児参画が注目されがちだが、男性と女性で家事時間差があるため、育児だけでなく家事全般に着目した取組を検討されたい。

②働きやすい職場環境づくり

- ・ 職場での若者へのハラスメント対策についても取組を検討されたい。

③賃上げの促進、原資の確保

- ・ 公が価格や報酬を定めている業種は、事業所が努力しても事業所の収入増に結びつかない。地方から国に対し、公定価格の引き上げを要望されたい。
- ・ 適正な賃金の支払いに向け、公契約の単価を見直していくべきである。

④リスクリングの促進

- ・ 生成AIで失われる仕事もあると言われており、当該分野からの労働移動やリスクリングを検討していく必要がある。

⑤採用の先進事例の展開

- ・ リファラル採用（※社員の紹介による採用）、アルムナイ採用（※元社員の採用）や、外国人採用の先進事例を県内企業に水平展開してはどうか。

⑥外国人の就労支援

- ・ 新たに雇用する外国人労働者の住居として、公営住宅の提供を検討されたい。

⑦保育士の確保

- ・ 0～1歳児を預けるところがなく、働きたくても働けない人がいる。子どもの預け先確保に向けて、保育士確保の対策をしっかりと講じられたい。

⑧地域別の対策

- ・ 地域によって産業構造や事情が異なるため、地域に応じた対策を考える必要がある。